学校番号	3001

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典講読	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「古典読本　古文編」（明治書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・長く読み継がれてきた古典作品を通して、先人のものの見方、感じ方、考え方を知り、自分の思いや考えを広げたり深めたりしていきましょう。
・古典作品を読む中で、興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりする活動も行います。情報を収集、整理して、自己の考えを伝え合う力を身に着けていきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典作品を通し、先人のものの見方、感じ方、考え方に触れ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、生涯にわたって古典に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典作品を通し、先人のものの見方、感じ方、考え方に触れ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また、他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高めることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、生涯にわたって古典に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古文の世界に親しみ、登場人物の心情の推移を読み取る ［教材］『源氏物語』	a:・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して考えを深めている。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で書写ができる。 b[話/聞]・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの考えを発展させている。 c: ・言語文化の担い手として学習活動に主体的に取り組み、学びを深め発展させている。 ・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題 授業態度
	興味を持ったことについて調べて発表する ［教材］『百人一首』の好きな歌について発表しよう	a:自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 b[話/聞]:・自分の考えが伝わるよう、構成や展開を工夫している。 ・話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の考えを深めている。 c:読み手・聞き手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書いたり話したりしようとしている。	ワークシート	ワークシート 発表内容	ワークシート 自己評価
2学期	古文の世界に親しみ、登場人物の心情の推移を読み取る ［教材］『源氏物語』『枕草子』他	a:・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して考えを深めている。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で書写ができる。 b[話/聞]・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの考えを発展させている。	定期考査	定期考査	提出課題 授業態度

		c：・言語文化の担い手として学習活動に主体的に取り組み、学びを深め発展させている。 ・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。			
	登場人物の生き方を通して、人間の在り方について関心を深める ［教材］『大鏡』『平家物語』	a：・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して考えを深めている。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で書写ができる。 b[話/聞]・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの考えを発展させている。 c：・言語文化の担い手として学習活動に主体的に取り組み、学びを深め発展させている。 ・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題 授業態度
	興味を持ったことについて調べて発表する ［教材］好きな古典作品について調べて発表しよう	a：自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 b[話/聞]：・自分の考えが伝わるよう、構成や展開を工夫している。 ・話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の考えを深めている。 c：読み手・聞き手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書いたり話したりしようとしている。	ワークシート	ワークシート 発表内容	ワークシート 自己評価
3学期	登場人物の生き方を通して、人間の在り方について関心を深める ［教材］『史記』	a：・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して考えを深めている。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で書写ができる。 b[話/聞]・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの考えを発展させている。	定期考査	定期考査	提出課題 授業態度

		c:・言語文化の担い手として学習活動に主体的に取り組み、学びを深め発展させている。 ・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。			

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間